



事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内  
〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6  
TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110  
メールアドレス：gvnc@nifty.com  
ホームページ：http://gvnc.eco.coocan.jp

” 本年は節目の年、楽しい中にも、緊張感を持って “

### ●主な活動の記録 (10月～12月)

10月1日(土) 環境体験講座 奈良阪県有地

”里山の森林整備と森の恵みを楽しむ会”を奈良市地球温暖化対策地域協議会との共催で、一般参加者を募って開催。朝方雨がぱらつき心配された天気だが、曇り空で蒸し暑かったが、雨に降られることなく予定通り実施親子ずれ 30名と市職員・事務局員・スタッフ 13名(内当クラブから6名)が定刻前に集合。

プログラムに沿って、

- ・会の趣旨、注意事項を説明
- ・森の働き、作業地の現状
- ・バーベキューづくり
- ・クリ拾い
- ・ごみの減量と利活用の紙芝居
- ・旬あてクイズ
- ・竹クラフト体験

を順次天候を考慮して、前倒しで進めて行った。昼食時には、焼きたてのバームクーヘンや、茹で上がったクリを賞味。会場に来た早々、こんな所嫌だ、帰りたいと泣き叫んでいた男の子、しぶしぶ竹藪に入り、竹伐り体験を始めた途端、俄然喜々として体を動かし出したのが印象的。これも森林の持つ力かなとあらためて考えを深くした次第。最後に子供達は、作品とクリを手元に元気に帰路に付いた。



竹伐り体験



バームクーヘンづくり



クリ拾い



ゴミは宝の話を聞く

10月8日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者 17名。全員でみんなの森植栽地である大伸社の森と体験の森周辺の草刈り。更に奥に行くため道の途中に、かなり以前に沢に架けた木橋が完全に朽ちて渡れなくなっているため、架け替えのための調査を実施。午後から予報では雨とのことで、午前中に切り上げたものの雨はなく、器具の修理・手入れとクラフト材料の竹の台づくりを手分けして行った。

終了後、14日実施予定の志都美小、森林環境教育のための指導者7名が芝生広場周辺の木の観察、代表的なもの6種をリーダーの案内で下見。

10月14日(金) 森林環境教育 香芝市志都美小学校 矢田山遊びの森

森林環境教育として、予てより準備を進めてきた、同校4年生65名を対象にクラブ員6名が指導に当た

り実施。10時前、追分梅林で大型バスから降り、約20分のハイキングの後、子ども交流館に到着。理事長より、今回の趣旨、当クラブの活動紹介、矢田山遊びの森の概略の説明に続き、辰巳理事より森林の働き、人間との関わり、動物と植物の違い、緑のダム等につき時折質問を交えて解説。子供達は熱心にメモを取りながら聞いていた。次いで、6班に分かれ、芝生広場周辺にある特徴的な木（ラクウショウ・クヌギ・トチノキ・四方竹・スダジイ）をそれぞれ指導員の説明を聞きながら、葉っぱ・実・木肌の違いを観察。又コナラのナラ枯れの現状をつぶさに見た。

午後、クラフト①竹の輪切りや木の実を組合せて作品づくり ②ガリガリトンボづくりの二手に分かれ、途中交代しそれぞれ作り上げて、楽しかったとお礼の言葉を後に帰っていった。



説明を聞く



木々の観察



ガリガリトンボづくり



竹細工

### 10月22日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

参加18名全員「永遠の森づくり」地拵え作業のため、緩い坂道を歩く。中にはもう一仕事やったような気分と言いながら頂上展望台に到着。森づくりの概要と作業内容の説明があつて、草刈り・株切り（切り株を切り取る）・除伐木枝の整理等を行う。昼前に雨がパラついたが、予定をこなし、再び子ども交流館へ戻る。理事会報告、

1. 記念植樹祭への県の支援要請
2. 植樹種、準備状況、担当決め
3. 20年の歩み原稿のチェック
4. 森林整備課研修会講師派遣要請
5. 奈良北高森林作業体験日程、役割分担
6. 総会12月24日をイベント（餅つき他）終了後に開催



作業説明



草刈り作業



株切り

### 10月22日（土） エコフェスタ 2016in まほろば 橿原市文化会館

「森の学校」として出展された県中部農林振興事務所の依頼を受けて、当クラブ員3名が木や竹を利用したクラフトづくり体験を指導。今回は33団体が出展、内容も多岐に亘り、多数の家族連れが訪れた。当クラブ、今年のクラフト内容は、「ガリガリトンボ」と「竹や木の輪切りを使った置物」づくりを扱ったが、ブースには164人が立ち寄った。「ガリガリトンボ」ではプロペラを回すのに必死、「置物」づくりでは、見本を参考に、どんぐりの固定や動く眼（動眼）つけに取り組んだ。早くにぶらっと覗かれた県

緑推の元事務局長川口氏、終りまで目一杯お手伝い頂き、大助かり。感謝、感謝。

11月12日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

本日、朗報あり！ この度、当クラブが”自然公園関係功労者として、環境大臣から表彰されることとなり、この20日志摩市で開催の”伊勢志摩国立公園設立70周年記念式典”に併せて執り行われる授賞式に、理事長とクラブ最長老内山氏が出席すること朝礼時発表された。この日の活動は

- ①みんなの森植栽地草刈り
- ②”永遠の森”づくり地拵え
- ③コンニャクづくり

を参加者20名が三手にわかれて実施。

草刈り班の一部は午後、器具の手入れをする一方、他は野鳥の森で取り頃となった柿の収穫。この間一名の姿が見えなくなり皆で探し、無事の姿を確認事なきを得た。

地拵え班は、頂上展望台での記念植樹に向けての準備として、以前除伐しうず高く積み上げていた木や枝葉の処理を行った。

コンニャクづくりは、女性陣の手で今回も木の子村より提供頂いた芋を使ってのコンニャク玉づくり。この3月に一度体験済みだけに手際よく出来、まだ温かいものを、柿と共に皆に分け各自持ち帰った。

11月20日 ”自然公園関係功労者環境大臣表彰”



大臣表彰式



記念式典会場で

この度、当クラブは19年にわたる永年のたゆまぬ活動により、標題の通り環境大臣表彰を受けることとなりました。この日志摩市で執り行われた伊勢志摩国立指定70周年記念式典に併せての式典で表彰状を受領してきました。この賞をいただくには、15年以上の継続した活動が必要です。今回北海道から九州まで全国32件の表彰がありました。奈良県からは、もう一つ個人の表彰がありました。

この表彰につきましては、クラブ創設者の石野元和さん、次の代表の上田さん、又これ迄クラブ在籍中になくなられたみなさんに今日の受賞を心より報告したいと思います。(理事長 鈴木秀位)

11月22日(火) 林野庁「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」事業に対する取材

標題、人工林を浸食する竹の除伐を行っている活動だが、この内容に関する取材を、林野庁より受託された(公財)日本生態系協会の松浦所長より受けました。同協会では、全国で優良な事例を紹介する活動事例集の作成を行っております。来年度は当クラブの活動を全国版の活動事例集に掲載いただくこととなりました。今回取材を受けることになったのは、当県で同事業の窓口である奈良県林業研究グループ連絡協議会から林野庁に当方を推進して頂いたものによる。

11月24日(木) 環境出前講座 伏見南小学校

同校一年生二組、正規の授業である”せいかつ”の時間二駒の枠を使って、それぞれ別々に森林環境教育とクラフトをクラブ員7名が指導にあたった。森林環境教育では、森のはたらきと、どんぐりについて説明。出来るだけ平易な言葉を選んで話したが、まだチョット難しい言葉があった模様。クラフトでは各グループ4名づつに指導員一人と、合間に、先生2名が補助頂き、木の実・殻を色々組合せ小動物や昆虫を、あるいは木の輪切りに付けてペンダントや置き物を作った。最後に短い小枝をエンピツ状にしたストラップを作った。皆一様に楽しそうに作品づくりに励んだ。入院中の児童にと、先生が材料と見本を持ち帰られた。一日も早く良くなって皆と一緒になれますように！



森のはたらき



製作風景



作品と共に

### 11月26日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

朝会で、大臣表彰の賞状と副賞が披露された。午前中クラブ員24名(新人1名を含め)に加え、すでに幾度となく会社ぐるみで参加を頂いているリコージャパン県下営業所の社員25名が加わり7、榊野工務店裏での竹の伐採。5班に分かれて、それぞれにクラブ員が指導について活動。意外と急斜面で最初とまどっていたが要領を掴んでからは、楽しそうに伐り進んでいった。作業の後は振り返って、明るくなった森を見て満足気。昼に女性陣が作った具沢山の豚汁とご飯で体を暖めて、炭窯の屋根に積もった落葉の掻き落としや周りの清掃と道具類の整理を実施。終了後の理事会では、

1. 植樹祭チラシ内容の検討
2. 植樹祭に対する県自然環境課の後援取付けの件
3. 森林教育指導者交流会講師の派遣要請を県森林整備課よその内容
4. 奈良北高校森林作業体験と環境教育12月17日に実施の要領検討
5. 懇親会の開催予定一新年会とする、詳細は追って



賞状の披露



竹伐り作業風景



落葉落とし

### 11月28日(月) 植栽予定地下見 頂上展望台

設立20周年を記念しての植樹のランドデザイン作成にあたり、専門家のアドバイスを貰いたく、県景観・自然環境課に紹介を依頼していたところ、馬見丘陵公園館の清水前館長に現地視察を行って頂いた。県同課職員2名も同行。高木の除伐を含めての周辺整備や、植栽予定木サクラ・カエデ・ツツジ等それぞれの植生に合わせての配置・植え方並びに養生の仕方まで種々ご教授頂きました。今後準備を進めて行くにあたり多々参考になり大いに感謝。

11月30日(水) 環境出前講座 平城西小学校

放課後子ども教室の児童約80名、先生方6名とクラブ員6名で、環境教育とクラフト指導を実施。森林環境教育では、新しい試みとして、一堂に子供たちの想像力を活かしての森林の役割を考えさせた。目をつむらせ、今深い森の中にいると想定し、感じる事、聞こえる声・音、地表にある物に思いをはせ発表させ、それから森の役割を引出し解説。結果は先生方も驚かれるほどの児童の集中力で、予想以上の出来栄。予定していた役割全て引き出された。クラフトでは、40名づつ二ヶ所に分かれ、木・竹の小口切りを組み合わせたり、それに木の実を飾りつけて、ペンダントや置き物、小動物、昆虫等を自由に作らせ、最後に竹笛づくり。時間が迫っていたこともあり、各グループにクラブ員3名と先生方3名が補助に付いたが最後は手が回りきらず、時間切れで何人かは未完成のまま材料を持ち帰らせたのが心残り。



森の役割を考える



何に作ろうかな



製作中

12月4日(日) 学校林整備 奈良北高校

永年続いている同校生徒の森林作業体験が、この17日(土)に予定されており、これに備えての林内の草刈りや、雑木の除伐作業を行い最後に、間伐体験のための選木を実施。所々に桜の枝が拵がっておりどうしても伐倒の際に掛かり木となること避けがたく選定にあつたては、皆の意見を集約しながらすすめた。予報では昼過ぎに雨はとのことで最後はチョット慌ただしかったが、丁度道具の片付けをする頃にポツリポツリし始めた。

12月10日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

同日開催の春日奥山古事の森シンポジウムに、理事長以下数名が廻った為、参加者13名と少なかつたが、「永遠の森」づくり地拵えと、17日実施の奈良北高校森林体験実習の準備の二手に分かれての活動。地拵え班は、8名で頂上展望台前南西角で伐り残した楠の高木3本と雑木の伐倒と、笹の切り残しの刈取り。結果信貴山方面まで見通せ、展望台から生駒山系の稜線全ての眺望がきくようになった。北高森林体験準備班は、クラフトで門松づくり用に太目の竹をR308横から伐りだし、多めにあつた為、24日の一般参加の餅つきを兼ねたクラフトでも間に合うようになった。あと当日使う器具類を取り揃えた。

先月来、遊びの森を訪れる皆に集めてもらったドングリ、回収用ボックスにいっぱいとなり。奈良の鹿愛護会に手渡すべく平武理事(同会会員)に持ち帰ってもらった。40kg強あつた。

午後、奈良教育大学で、なら環境教育ミーティング2016があり、岡本が当クラブの事例報告を行った。報告者14団体、参加者53名とのこと。



12月17日(土) 森林作業体験指導 奈良北高校

同校2年生46名と教職員・保護者約20名が参加。前日に比し、暖かく作業のしやすい日和。8:30に集合、当理事長挨拶のあと、5つに班割り、ヘルメット・ノコギリ・ロープ等を配布。各班担当の当クラブの指導者を紹介。その指導者の案内で、各指定の作業場所へ移動。そこで作業の意義、要領、注意点等の説明。次いでスギの伐倒に当たり掛かり木にならないように方向を決め、その方向にロープを張り、一番大切な受け口の方向を何度も確認しながら慎重に切り、ツルを残して、呼吸を合わせてロープを引き、見事所定の方向に倒すことが出来た。倒れた時は拍手と歓声があがった。ノコギリは最初不慣れであったが、大分上達し「枝を切り落とすのが楽しい」と言う女生徒もいた。後、駐車場へ移動し、環境教育として、ナラ枯れ、マツ枯れの話。次いで門松・リースづくり、竹・松・梅もどき・アケビのツル等を使ってみんなおもしろおもしろに自分のオリジナルなものを作って楽しんでいた。すべてを終わって片付けていると「今日は普段経験できない貴重な体験をさせていただいて大変有難うございました。」とお礼を言って帰られた保護者の方がおられた。



受け口づくり



玉切り



リースづくり



門松づくり

12月24日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

冬にしては穏やかなこの日、本年最後の活動日故、山の感謝祭として、餅つき大会とクラフトをクラブ員20名に加え、主に当地で青空保育園”ひよこクラブ”として活動されている親子連れ6組16人の一般参加で実施。餅つきの準備が整う間、子供たちにはミニ門松・リースや竹のコッポリづくりをクラブ員が指導しながら楽しんでもらう一方、他の会員は炭窯周辺の整備を行った。餅丸めは、ノロウイルスの蔓延が伝えられているので、マスク・手袋を着用し、せっかくの搗き立てだが、安全を考え熱いぜんざいに入れて食した。子供たちもお試し餅つきを楽しんだ。今回、奥氏より提供の黒米・赤米入りの珍しい餅を味わうことも出来た。午後は、一般参加者を解散し、片付けを終えて、情報館で定時総会を開催。

議事次第に沿い、理事長挨拶・総会成立確認・議長選出・議事録署名人選出に議事に入った。

理事長の挨拶では、今年一年も無事に所定の活動予定をこなせたクラブ員の協力に感謝し、平成27年度事業報告・決算と平成28年事業計画・予算の説明。二三の質疑応答の後、全員の拍手で承認し終了。

追加として、新年会を1月19日(木)西大寺味楽座で開催の案内があった。



ミニ門松作り



餅つき体験



餅丸め

\*\* 「永遠の森・なら四季彩の庭」づくり植樹祭が、奈良県後援の事業と認定されました。 \*\*